

令和2年度宮崎海岸の侵食対策の効果・影響に関する意見提出用紙 1枚目

宮崎海岸の侵食対策は、行政・市民・専門家が三者一体となって進めており(「宮崎海岸トライアングル」)、毎年調査を行い委員会等によりその効果を検証・確認しています。今回も市民の皆さんのご意見を頂きたく、参加・発言の意志のある方は、是非、本用紙にご意見や普段感じていることを記載下さい。お伺いした意見等については、従来のコーディネータにお渡しし、集約して対策の効果評価の参考にさせていただきます。

なお、ご回答いただいた内容は、個人が特定できないように集計するとともに、本来の目的にのみに利用します。より良い宮崎海岸にしていくために、是非ご協力をお願いします。

■あなたのことや、資料配布を希望された理由などについて教えてください

1. はじめにあなたのことを教えてください

(1)あなたのお名前をご記入ください お名前: _____

(2)あなたの年齢を教えてください。あてはまる箇所に○をつけて下さい。

20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

(3)これまでに宮崎河川国道事務所および宮崎県が開催した懇談会、勉強会、市民談義所に参加したことがありますか。

あてはまるものに○をつけて下さい。

- 懇談会、勉強会、市民談義所に全部あるいは何度か参加した
 懇談会、勉強会、市民談義所に一度だけ参加した
 参加したことがない、懇談会、勉強会、市民談義所について知らない

2. この資料配布を何で知りましたか？ あてはまるものに○をつけて下さい。※複数回答可

- 宮崎河川国道事務所からのメール、FAX等の案内 行政機関からの紹介 知人からの紹介
 宮崎河川国道事務所等のホームページ
 その他 (具体的に _____)

3. 資料配布に応募された動機は何ですか。あてはまるものに○をつけて下さい。※複数回答可

- 宮崎海岸の事業そのものに関心があった 災害からの安全・安心の確保に関心があった
 海岸の環境(生態系等)に関心があった 海岸の利用(漁業、スポーツ、レクリエーション等)に関心があった
 海岸の景観に関心があった
 その他 (具体的に _____)

令和2年度宮崎海岸の侵食対策の効果・影響に関する意見提出用紙 2枚目

■主に宮崎海岸の地形(砂浜などの陸域から海の中について)や自然環境、利用などについて、ご意見やふだん海岸を見て感じていることをお聞かせください

こちらにご記入ください

※ページ番号(p15等)は、別冊の「令和2年度宮崎海岸の侵食対策の効果・影響に関する資料」の該当ページ番号です

項目	調査結果の分析・評価			あなたの意見や感じていること		
	分析	前回との比較	今後の対応	左記分析評価に対して ※()に○を記入	○を付けた理由や意見、感じていることなど	
波浪	<ul style="list-style-type: none"> ・年最大の波は、計画値より小さかった。(p15) ・波のエネルギー(土砂を動かす力)は平年より若干大きかった。(p16) ・波向は、想定される範囲内であった。計画値に対しては若干南からであった。(p17) 	大きな傾向の変化はみられない	波向の傾向に注視しつつ監視を継続する	そう思う () そう思わない() わからない ()		
海岸地形	浜幅や海の中の地形	<ul style="list-style-type: none"> ・過去には侵食傾向であったが、近年は横ばいもしくは若干の堆積傾向を示す区間も見られている。(p24-26) 	大きな傾向の変化はみられない	引き続き監視していく	そう思う () そう思わない() わからない ()	
	浜崖	<ul style="list-style-type: none"> ・台風8号, 10号等、高波浪が作用したが、地盤が低くなっていたサンドバックの新設箇所を含め浜崖の顕著な後退を防ぎ、背後地を守ることができた。(p18-19, 27) 	大きな傾向の変化はみられない	高波による養浜盛土の流出、サンドバックの損傷に速やかに対応する。監視を継続する。	そう思う () そう思わない() わからない ()	
アカウミガメ	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設護岸設置範囲に98回の上陸と51回の産卵が確認された。前回からは大炊田で若干の増、動物園東では減少した。(p29) ・7月の15日間調査で見ると、上陸・産卵数は前年より減少しているが、これは全国的な傾向と類似している。(p29) 	大きな傾向の変化はみられない	全国的な傾向を参考にしつつ監視を継続する	そう思う () そう思わない() わからない ()		
自然環境	海域の自然	<ul style="list-style-type: none"> ・波打ち際から沖合までの海域では、多様な種が確認された。(p31) 	大きな傾向の変化はみられない	引き続き監視していく	そう思う () そう思わない() わからない ()	
	陸域の自然	<ul style="list-style-type: none"> ・陸生のギョウギンバ等の成育範囲が広がっており、埋設護岸上や背後の砂浜が安定してきた効果が確認された。(p32) 	大きな傾向の変化はみられない	引き続き監視していく	そう思う () そう思わない() わからない ()	
海岸の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り、サーフィン等、海岸における多様な利用が確認された。(p33) 	大きな傾向の変化はみられない	引き続き監視していく	そう思う () そう思わない() わからない ()		

令和2年度宮崎海岸の侵食対策の効果・影響に関する意見提出用紙 3枚目

■主に宮崎海岸の侵食対策事業について、ご意見や感じていることをお聞かせください

こちらにご記入ください

※ページ番号(p13)は、別冊の「令和2年度宮崎海岸の侵食対策の効果・影響に関する資料」の該当ページ番号です

対策	各対策の評価(p13)		あなたの意見や感じていること	
	効果	課題と今後の方向性	左記評価に対して ※()に○を記入	○を付けた理由や意見、感じていることなど
養浜	・宮崎海岸全体で侵食進行の抑制効果が見られた。	・目標浜幅50mを確保するだけの回復には至っていないことから、更なる養浜の推進が必要である。	そう思う () そう思わない() わからない ()	
突堤	・突堤設置範囲で堆積傾向が見られた。	・突堤設置区間周辺の砂浜を回復するためには、突堤の延伸に加え、砂の供給が必要である。	そう思う () そう思わない() わからない ()	
埋設護岸	・浜崖の顕著な後退を防ぎ、背後地を守ることができた。	・サンドバックにより背後砂丘が守られているため、サンドバックを健全に維持していくことが課題である。	そう思う () そう思わない() わからない ()	
上記3つの対策のまとめ	・各対策ともに一定の効果を発揮していると考えられる。	・引き続き、測量等により各対策の効果・影響の把握や施設の機能維持に努める。 ・更なる養浜の推進のため、サンドバイパス・サンドバックの実施に向けて検討を進める。 ・関係機関と協力体制を作って突堤延伸を推進する。 ・事業進捗により砂浜が安定するまでの期間、埋設護岸の適正な維持・管理に努める。	そう思う () そう思わない() わからない ()	

令和2年度宮崎海岸の侵食対策の効果・影響に関する意見提出用紙 4枚目

■その他の宮崎海岸に関わることについて、ご意見やふだん海岸を見て感じていることをお聞かせください

※枠内にご意見等を記入してください。

該当する場所があればその場所を空中写真に矢印等で記入してください

